

安全データシート(SDS)

1 製品及び会社情報

製品名	虫取りクリーナー		
品番	-		
会社名	樋屋ケミカル株式会社		
住所(本社)	〒460-8330 愛知県名古屋市中前津二丁目9番29号		
担当部門	品質管理部		
電話番号	0566-82-5811	FAX番号	0566-83-2600
緊急連絡の電話番号	同上		
主な用途	バイク用ヘルメットのクリーナー		
作成日	2015年8月5日	改定日	(2版) 2025年3月5日

2 危険有害性の要約

【GHS分類】

・エアゾール	分類できない
・引火性液体	分類できない
・急性毒性 経口	分類できない
経皮	区分に該当しない
吸入:気体	分類できない
吸入:蒸気	分類できない
吸入:粉じん及びミスト	分類できない
・皮膚腐食・刺激性	分類できない
・眼損傷・刺激性	分類できない
・呼吸器感作性	分類できない
・皮膚感作性	区分に該当しない
・生殖細胞変異原性	分類できない
・発がん性	区分に該当しない
・生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
・特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
・特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
・誤えん有害性	区分に該当しない
・水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
・水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
・オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

【絵表示】

非該当

【注意喚起語】

非該当

【有害性情報】

非該当

【安全対策】

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・容器を密栓しておくこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急処置】

- ・飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、医師の診断を受ける。
- ・眼に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。異常がある場合は、医師の診断を受けること。
- ・皮膚についた場合は、清水で洗い流す。異常がある場合は、医師の診断を受ける
- ・吸入し呼吸が困難な場合は、新鮮な空気のある場所に移動させ安静にする。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】

- ・直射日光の当たる所や温度が40℃以上になる所、凍結する所には置かないこと。

【廃棄】

- ・中身を使い切ってから廃棄する。
- ・内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品

成分名	CAS No.	含有量(%)	PRTR法No.	安衛法No.	備考
精製水	7732-18-5	95 ~ 99	非該当	非該当	
界面活性剤	非公開	1未満	非該当	非該当	
防腐剤	122-99-6	0.1未満	非該当	1693※	(注1)

PRTR法No.: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法) 対象化学物質の政令番号

安衛法No.: 労働安全衛生法 (安衛法) 第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

※安衛則別表第2の番号 (令和8年4月1日～)

(注1) 皮膚刺激性有害物質であるが、配合量より製品は、非該当扱いである。

4 応急処置**【吸入した場合】**

- * 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にする。

【皮膚に付着した場合】

- * 清水で洗い流す。異常がある場合は、医師の診断を受けること。

【目に入った場合】

- * 直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。
- * コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。
- * 医師の診断を受けること。

【飲み込んだ場合】

- * 無理に吐かせず、医師の診断を受けること。

5 火災時の措置

- * この製品自体は、不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。

【消化剤】

- * 水 [○]、炭酸ガス [○]、泡 [○]、粉末 [○]、乾燥砂 [○]

【消火方法】

- * 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。

消火を行う者の保護

- * 適切な保護具 (耐熱着衣、有機ガス用防毒マスク、手袋等) を着用する。

6 漏出時の措置**【人体に対する注意事項】**

- * 作業の際には適切な保護具 (保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等) を着用する。
- * 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

【環境に対する注意事項】

- * 流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

【除去方法】

- * 回収後の少量の残留分は、土砂 (おがくず・土・砂・ウエス等) で吸着させ取り除いた後、残りをウェス、雑巾等でよく拭き取る。
- * 少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

7 取り扱い及び保管上の注意**【取り扱い】**

- * 容器は衝撃や落下又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- * 容器は使用の都度キャップをかぶせること。

【安全取り扱い注意事項】

- * 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

【適切な保管条件】

- * 直射日光の当たるところや温度が40℃以上になる所、凍結する所に保管しないこと。
- * 子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

8 暴露防止及び保護措置

【設備対策】

特に必要なし

【保護具】

- * 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて有機ガス用マスクを使用する。
- * 目の保護具 : 保護眼鏡を着用する。
- * 皮膚の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋、保護前掛けを着用する。

【許容濃度】

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度 ACGIH(TLV)
精製水	規定なし	設定されていない	設定されていない
界面活性剤	規定なし	設定されていない	設定されていない
防腐剤	規定なし	設定されていない	設定されていない

9 物理的及び化学的性質

【物理的状態】

状態 液体:[○]
 気体:[]
 固体:固体状[],粉末状[],ペースト状[]

色 無色透明
 臭い 微原料臭
 pH 11.5~12.5
 沸点 100 °C(水)
 沸点範囲 データなし
 融点 データなし
 引火点 データなし
 発火点 データなし
 爆発限界 データなし
 蒸気圧 データなし
 蒸気密度 データなし
 密度(比重) 1.00(中心値)(20°C)

10 安定性及び反応性

【安定性】

* データなし

【反応性】

* データなし

【危険有害な分解生成物】

* データなし

【その他の反応性情報】

* 特になし

11 有害性情報

【成分の健康有害性情報】

物質名	急性毒性(LD50、LC50等)				
	経口	経皮	吸入(気体)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵、ミスト)
精製水	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
界面活性剤	区分5	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
	>2,000 mg/kg				
防腐剤	区分4	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
	1,260 mg/kg				

物質名	皮膚腐食/刺激性	眼損傷/刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性	生殖細胞変異原性
精製水	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
界面活性剤	区分3	区分2A	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
防腐剤	分類できない	区分1	分類できない	分類できない	分類できない

物質名	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器(単回)
精製水	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
界面活性剤	区分に該当しない	分類できない	分類できない
防腐剤	分類できない	分類できない	分類できない

物質名	特定標的臓器(反復)	誤えん有害性
精製水	区分に該当しない	区分に該当しない
界面活性剤	分類できない	分類できない
防腐剤	分類できない	分類できない

12 環境影響情報

【成分の水性環境有害性情報】

物質名	水生環境有害性 短期(急性)	水生環境有害性 長期(慢性)	オゾン層への有害性
精製水	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
界面活性剤	区分2	分類できない	分類できない
防腐剤	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13 廃棄上の注意

【残余廃棄物】

- * 中身を使い切ってから廃棄する。
- * 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

【汚染容器・包装】

- * 内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託して下さい。

14 輸送上の注意

【共通】

- * 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
- * 運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

【陸上輸送】

- * 消防法、労働安全衛生法、ほか法令の輸送について定めるところに従うこと。

【海上輸送】

- * 船舶安全法に定めるところに従う。

【航空輸送】

- * 航空法に定めるところに従う。

【国際規制】

国連番号 : 非該当 国連分類 : 非該当 指針番号 : 非該当

15 適用法令

- 高压ガス保安法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 労働安全衛生法 : 非該当
- 表示/通知対象物質: 非該当
- 有機溶剤中毒予防規則: 非該当
- 特定化学物質障害予防規則: 非該当
- がん原性指针对象物質: 非該当
- 作業記録の保存が必要となるがん原性物質: 非該当
- 強い変異原性が認められた化学物質: 非該当
- 皮膚等障害化学物質(皮膚刺激性有害物質): 非該当
- 皮膚等障害化学物質(皮膚吸収性有害物質): 非該当
- 化学物質排出把握管理促進法 : 非該当
- 船舶安全法 : 非該当
- 航空法 : 非該当
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

16 その他の情報 (引用文献)

- * 化学物質等安全データシート(MSDS)
- * GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252
- * GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253
- * 産業中毒便覧(医歯薬出版株式会社)
- * 14705の化学薬品(化学工業日報社)
- * 改訂第2版 労働安全衛生法 MSDS対象物質全データ(化学工業日報社)
- * 改訂第2版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
- * 危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)
- * GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)
- * GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック 改訂第2版(日本塗料工業会)
- * GHS対応版ラベル・MSDS作成マニュアル(日本オートケミカル工業会)
- * 溶剤ポケットブック(オーム社)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したのではなく、情報の正確さ、完全性を保証するものではありませんので、新しい情報によって改訂されることがあります。

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。